

第189号

2025年(令和7年)1月15日発行

東そのぎ 議会だより



令和7年 出初式

もくじ

2～3ページ
4～9ページ
10～11ページ
12ページ
13ページ
14ページ

12月定例会で決まったもの
一般質問(5名)
各常任委員会活動報告
町のフォト
編集後記
議長年頭あいさつ

東彼杵町ホームページ
議会情報



発行：長崎県東彼杵町議会 長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷 1850番地6 発行責任者：東彼杵町議会議長

編集：東彼杵町議会広報編集特別委員会 【電話】0957-46-0177 【メール】gikai@town.higashisonogi.lg.jp

12月定例会で決まったもの

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

全会一致可決

マイナ保険証導入に係る通知費用に24万円が追加され総額1億4454万円となりました。

水道事業会計補正予算(第2号)

全会一致可決

収益的支出の配水及び給水費(修繕費)に330万円が追加され2億5642万円となりました。
資本的支出の建設改良費(工事請負費)に200万円が追加され2億2108万円となりました

請負金額

可決

- ・(仮称)新駄地団地新築工事
契約金額 6億5329万円(税込み)
契約の相手方 株式会社 池田工業(佐世保市)
- ・大音琴川浚渫推進工事(2工区)
契約金額 6192万4千500円(税込み)
契約の相手方 有限会社 東峰
- ・口木田川浚渫推進工事
契約金額 4776万900円(税込み)
契約の相手方 有限会社 山田組

賛否表

○賛成 ●反対

		大 安	児 玉	構	吉 永	尾 上	大 石	口 木	審議の 結果
12 月 定 例 会	補正予算								
	・令和6年度一般会計補正予算(第5号)修正	○	○	●	○	○	○	○	可決
	・令和6年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	●	○	可決
	・令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・令和6年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・令和6年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和6年11月5日(第4回臨時議会)

- ・バイオトイレ(2基)購入
契約金額 5783万8000円(税込み)
契約の相手方 エムエステック株式会社(熊本市)

<反対> 一般的なバイオトイレ(約350~550万円)と比較し、一基あたり約2,900万円と超高額である。

<賛成> 龍頭泉のバイオトイレは、そうめん流し等の観光名所としてアピールできると思われます。

一般会計補正予算(第5号)

修正案に賛成
多数可決

約9650万円が追加され総額76億7240万円となりました。(補正額は、10万円単位)

*慎重に審査した結果、教育センター図書室移転業務委託料275万円について、移転先が具体的に決まらず時期尚早との意見がありました

<反対> 教育センター分室の取り壊しは、すでに決まっている事であり、図書室移転に図書の分別も含め相当の日数を要するため。

<賛成> 図書室移転だけでなくその他の移転もあり、総合的な移転計画をされるべきである。

①既存水源揚水試験業務委託料(企業誘致用)
2800万円

②福祉医療費追加
550万円

③優良肉用子牛生産推進緊急対策事業補助金340万円

④東彼杵町飼料価格高騰緊急対策事業補助金
190万円

⑤施設園芸等農家燃油価格高騰対策緊急支援事業補助金570万円

⑥令和6年発生農地等災害復旧工事
2000万円

一般会計補正予算(第6号)

賛成多数可決

約1億7380万円が追加され総額78億4600万円となりました。(補正額は、10万円単位)

①児童福祉費 仲介手数料430万円

②児童福祉費 公有財産購入費1億3000万円

<反対> 改修費が不確定であること、学童保育のための耐震化に問題があること、スーパー進出が決定していないため。(令和6年12月27日現在)

<賛成> 現地調査の結果、建物は20年以上使用できる。耐用年数が過ぎている現学童保育施設の移転もすみやかにできる。4階は、部屋数も多く避難場所や会議室として活用できる。

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

全会一致可決

高額療養費、マイナ保険証制度化に伴う経費等に954万円が追加され総額11億1954万円となりました。

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

全会一致可決

介護サービス及び介護予防・日常生活支援総合事業の保険給付費・地域支援事業、令和5年度介護保険事業費補助金等の精算に伴う返還金に3892万円が追加され総額8億9956万円となりました。

小中一貫校（一体型）の開校時期は

施設分離型（9年間）を経て、令和15年度を目指したい

（本稿は、質問者の責任で作成しています。）

おおいし としろう
大石 俊郎

小中一貫教育の問題点

【議員】 検討委員会のメンバーは。

【教育長】 長崎大学木村先生、PTA会長、学校運営協議会、認定保育園、区長会、公募者など23名です。

【議員】 問題点や課題等について、教えて頂けますか。

【教育長】 一つ目は3校分離型で仕組み作りを進めて行くことになるので、3校分離型での9年間を通じた編制のあり方また、学校のつなぎ方をどのように進めていくのか。

二つ目は、9年間を通じて出た教育内容の編成内容などについて、学校間での教員の体制作りや地域関係者のあり方などコーディネートする必要があると思います。

三つ目は保護者、地域へのご理解、ご協力を頂くことなどです。

【議員】

令和6年の出生者数は、30名を切る事が予測されます。千綿小は、複式学級を余儀なくされる時期が早晚訪れると思います。その審議はなされていますか。

【教育長】

千綿小は、6年後ぐらいに複式学級が予測されています。

その事も踏まえ、校舎一体型が望ましいのではないのかという議論になっていくのではないのかなと思っています。

【議員】

検討委員会における答申の時期は、いつですか。

【教育長】

小中一貫教育制度導入の是非について、今年度末までに答申して頂くようお願いしております。

千綿女子高等学園、解体時期は

【町長】

令和12年度以降を予定しています。

【議員】

解体施設は、校舎、生徒の宿泊施設、体育館、園芸ハウスなどがあります。解体費用はいかほど見積もっておられますか。

【町長】

約2億3千万円程度です。

【議員】

その解体費用の財源は。

【町長】

一般財源となります。

※一般財源とは使途が特定され

一般質問

町政を問う 12月定例会
一般質問に5人が登壇

10月30日菊陽町（熊本県）にて

町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。
ここでは、質問した議員ごとに内容を要約してお知らせします。

※一般質問の記事に関しましては、質問者の責任で作成しています。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



P. 5 小中一貫校（一体型）の開校時期は ⇒ 令和15年度を目指す



P. 6 工業団地整備は町民への情報発信が不足しているのでは



P. 7 国道205号・34号の渋滞緩和は！第9期介護保険計画は！



P. 8 長崎街道彼杵宿案内板の一部補修は



P. 9 新・駄地団地の完成時期と千綿駅の今後は



※一般質問は、図書館にてDVD（動画撮影）として貸出をしています！（ただし5日間の貸出し）

おられますか。

【町長】

何故、今新庁舎を建設するのかという理由は「防災拠点を作らなければならぬ」という事。また、県からも国道側庁舎の除却命令が出ている事です。将来への負担も検討しなければなりませんけども、まずは新庁舎です。

学校も一体化するかどうかは検討してまいります。

「お金がないから出来ません」という事は言わないようにしています。



千綿女子高等学園跡地

議員

介護保険料の上昇抑制対策は

町長

介護事業の周知・基金の活用

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



みづおか ひろし 構成 浩光

【議員】 国道205号及び34号の渋滞緩和対策は

【町長】 起点はハウスアンボス入口交差点、終点を東彼杵IC、改良延長約15km、片側2車線、設計速度80kmの要望。車線幅員は、3.5mとなる見込みです。

【議員】 東彼杵道路の起点、終点、改良延長及び幅員構成は。

【町長】 起点はハウスアンボス入口交差点、終点を東彼杵IC、改良延長約15km、片側2車線、設計速度80kmの要望。車線幅員は、3.5mとなる見込みです。

【議員】 国による重要性の認識が高まり、事業推進の予算確保及び国と連携強化により、新規事業選択に向け円滑に進んでいる状況です。

【議員】 東彼杵道路改良事業の着手年度は。

【町長】 環境影響評価業務が行われており、調査に2～3年要し、その後、新規事業の採択が行われ、着手まで数年が要すると思われる。

【議員】 部分的に施工が可能であれば、口木田から島田までの改良工事ができないか。

【町長】 令和3年8月豪雨により、国道205号で、路肩部の崩壊や

路面の隆起が発生し全面通行止めとなり大きな交通影響がありました。東彼杵道路の設置位置の関係や予算確保等の多くの課題があり厳しい状況であると思われまます。

【議員】 町道赤木幹線入り口にドラックよくしよし長崎店がオープンし、観光バスで国道及び町道で渋滞、赤木地区及び橋の詰地区の一部の方がつりし帰りする。また、外国観光客の一部の人が私有地に進入、車道を横断し危ないと思ひますが対応策は。

【町長】 地元自治会から会社に対し要望書が提出、会社側から解決策が提案された事は、把握しています。提案は、準備が整いしだい実施する。現在も同様な事が、継続していれば、町から申し入れると共に、川棚警察署と対策を協議する。会社が提案した解決策は、バス運転手に国道、町道への駐車禁止、法令を遵守し

【議員】 赤木地区の児童の学校行事等の場合は、行事の終了時間等に合わせ、バスの運行ダイヤを変更し、スクールバスで帰宅。また、橋の詰地区の児童で、赤木方面から登校している児童は、現在、5名。下校は、1人はスクールバス、1人は学童、2人は社会体育に所属で保護者の車で帰宅。1人は、国道を通らず別のルートで友達と帰宅。徒歩で下校する状況になれば、関係情報等が入手できる際は、保護者等へ情報提供し、保護者の迎えを検討したい。

【議員】 第9期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画は

【議員】 介護保険料は、高齢化が進み、2040年の予想では、県平均で8337円、2115円の

【議員】 介護認定を受けていない1人世帯、高齢者だけの世帯、認知症世帯の情報収集の必要性、対応策は。

【町長】 必要性は認識しています。地域包括支援センターで、閉じこもり等など、何らかな支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげる事を目的とした介護予防把握事業を実施しています。看護師が訪問し本人の身体状況、生活状況を確認し介護事業の照会や、検診の受診勧奨を行っています。

【議員】 保険料上昇を抑制する対応策は、事業の周知、運営拡充を努め急激な保険料の上昇にならないよう、基金を活用し、先進事例研究を行っていききたい。

【町長】 保険料上昇を抑制する対応策は、事業の周知、運営拡充を努め急激な保険料の上昇にならないよう、基金を活用し、先進事例研究を行っていききたい。

【議員】 道の駅や千綿駅駐車場で、町内産を販売する場合、料金を免除して使用率を上げ、日常的に活用しては。

【町長】 前向きに検討する。



議員

工業団地は情報発信が不足

町長

財政負担と誘致の効果を説明

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



こだま たかひろ 児玉 隆行



工業団地整備予定地



【議員】 周辺住民への説明会では、「どのような声」があつて、町長は、何を「感じた」のか。

【町長】 企業誘致によるプラス効果の「期待の声」と、環境の変化や交通渋滞等による「不安の声」があつた。

【議員】 町の負担額や誘致効果の情報を、町民へ発信する必要があると思うが。

【町長】 まだ、企業は、決まっていない。今後、詳細な経費や企業誘致の効果を説明する。

【議員】 スーパー誘致の課題

【議員】 多額の公費を投入して誘致するスーパーであるが、国道の「渋滞」と「施設の出入口が二か所に集中」することが大きな問題である。渋滞対策と事故防止対策は。

【町長】 国道への出入口は、開発業者が協議を実施する。信号機の要望は、何度も行っているが、難しい状況である。



町内産の農産物や物産品のアピール強化策は

【議員】 道の駅や千綿駅駐車場で、町内産を販売する場合、料金を免除して使用率を上げ、日常的に活用しては。

【町長】 前向きに検討する。

【議員】 千綿駅の駐車場

【議員】 キッチンカースペース



委員会調査報告

熊本県大津町 視察研修

総務厚生常任委員会(令和6年10月31日)

大津町は、熊本市の東方約19km、阿蘇山との中間に位置し、阿蘇外輪山西部に広大な山林、原野地帯、ゆるやかな傾斜をなし広がる北部畑地帯、南部平野は肥沃な水田地帯を形成。人口は約3万6千人、面積99km²で国道57号、325号が縦横断し、阿蘇くまもと空港、九州縦貫自動車道・熊本ICを近くに擁する交通アクセスに恵まれた田園産業都市でした。

(1) 議会におけるデジタル技術の活用について

①ICT化の現状は、タブレット端末の導入、インターネット中継・録画配信の開始、議場での大型モニターの活用、電子採決システムの導入、WEB会議のシステムの導入、コミュニケーションツールの活用及び事業継続計画を作成され災害時の体制強化にICTを活用されていた。

②ICT化の経緯は、平成28年4月16日に熊本地震が発生し使用不能となり、平成28年9月新庁舎建設特別委員会設置に合わせ、平成30年2月新議場設備機能について取りまとめ、新議場のICT関係設備、議会のICT化計画、令和3年3月タブレット端末導入、令和3年7月新庁舎(新議場)開庁、令和3年9月本格的映像配信。議会のICT推進基本計画の考え方として、住民との接点、議会活動の見える化、議会運営の充実、議会事務の効率化、危機管理体制の強化のための活用をされていた。



(2) 子ども子育て支援について

①こども家庭センターの設置は、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体化し関係機関との連携も強化して、隙間のない支援を実施されていた。

②地域活動団体と連携した子育てカフェの充実、子育ての孤立化を防ぎ、自宅外での個別相談の第一歩とし、低リスク段階での解消が図られていた。

③児童育成支援拠点の整備は、養育環境等の課題を抱える児童を対象に居場所となる拠点を開設、児童に生活の場を提供、相談等を実施、教育委員会との連携強化を図られていた。



企業誘致の影響・課題を調査

総務厚生常任委員会

産業建設文教常任委員会

令和6年10月30日に常任委員会合同調査を行った菊陽町は、熊本県熊本市の北西側に位置し、阿蘇連山が眺望できる自然環境に恵まれた豊かな町です。面積は、本町の約半分(面積37.5km²)で、基幹



産業の農業は、阿蘇に源を発した白川やその支流の恩恵を受け、米、麦、野菜、畜産物などが生産されています。

一方、町のスローガンを「成長しつづける町」と定め、日本一のまちづくりを目指した取り組みとして、企業誘致を積極的に行っています。

豊富な水資源と高速道路のインターチェンジや空港に近い有利な立地を生かし、多くの企業が進出していますが、更なる成長を見据えた区域拡大に着手したタイミングと半導体の国内生産という国策とも言えるプロジェクトが重なり、世界最大の半導体受託製造企業(台湾企業)が進出することとなりました。

台湾企業と日本企業の出資で設立された新会社が運営する第1工場(従業者数1,700人)は、本年2月に開所しています。現在は、第2工場の建設が進んでおり、第1工場と第2工場を合わせた従業員総数は、3,400人になる見込みです。

大規模工場進出のメリットは、人口増加、雇用創出、固定資産税の増加や地域経済の活性化等の影響を町に及ぼしています。課題としては農業を主体としている地域の道路網では、増加した交通量への対応が難しく、交通渋滞が大きな問題となっており、幹線道路や町道の各所で工事が行われています。

更に、人手不足による人材獲得競争や地域間格差の課題解消も進んでいません。

長崎県と町が実施している工業団地の開発は、若者の定住や町内雇用の創出が期待されていますが、周辺環境への影響や道路整備の課題を事前に精査し、町全体で情報を共有して取り組むことが重要であると感じる結果でした。



消防団初の秋季総合教育訓練



ラッパ隊



消防団長

編集後記

昨年の「新語・流行語大賞」には、昭和から令和の時代にタイムスリップした主人公が、二つの時代の価値観の違いに戸惑いながらも奮闘する姿を「ミカルに描いたテレビドラマ「不適切にもほどがある」を略した「ふてほど」が選ばれました。

我々も多くの皆様とお会いし、挨拶をしますが、特に女性との挨拶において「お綺麗ですね。かわいいですね」のほめ言葉はNGです。また「お年は？お住まいは？」の質問は、男女問わずプライバシーの侵害に当たるそうです。挨拶一つ取っても気を遣いながらの会話になり、大変緊張します。

今は多様性と同時に個性を認め合う時代になっていますので、様々な場面で、きめ細かい配慮が必要になりました。

さて、今年は巳年ですが、蛇は古代から、脱皮して新しい姿に変わること、再生や永遠の象徴となっており、このことから巳年は「改革の年」、「成長の年」と言われています。

新年にあたり、町民皆様のご多幸とご健勝、合わせて一日一日を大切に生きて行かれますようにお祈りいたします。

(吉永)

委員長
副委員長

大尾 吉 児 構 大
石上 永 玉 安
俊 庄 秀 隆 義
郎 次 俊 行 光

応援団長と小さなサポーター！



千綿小学校



運動会



彼杵小学校



堂々たる入場行進！

議長年頭あいさつ



新年 明けましておめでとうございます。

町民皆様方に於かれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。町議会に対しましては、平素から暖かいご理解とご協力を賜り、心からお礼と感謝を申し上げます。

コロナ禍での色々な自粛ムードも徐々に和らぎ、インバウンド等も再開されるようになりましたが、ウクライナ紛争をはじめ、円安による資材及び物価高騰により人々の生活は厳しさを増しています。国もいろいろな支援策を打ち出しておりますが、思うように行かないのが現状です。

東彼杵町の人口も約 7,300 人に減少してきておりますが、それを緩和させるには、働く場所の確保や日常の買い物の利便性、若い人が定住できる子育て環境の整備、更には老後を安心して暮らせる買い物支援や移動手段の充実を図らなければなりません。幸いにして企業誘致や大型店舗の進出計画も取りざたされています。これには地権者や地域住民皆様方のご理解がないと進まない案件もありますが、早い段階で実現することを願うばかりです。

本町の豊かな自然と交通アクセス、また、地域の特性や利便性を活かし、小さな町でもこれから輝く町、子ども達が我が町を自慢できる町として、町民皆様方と共に造り上げなければなりません。

議会といたしましても町民皆様方のお声を拝聴しながら、町の発展のために全力で取り組む覚悟です。

今年も、町民皆様方にとって素晴らしい年になることを心から祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

令和 7 年 1 月 吉日 浪瀬真吾

